



# glu リリースノート

## IMC 3.7.0

IMC の最新バージョンとして 3.7.0 を提供いたします。リリース日：2024 年 8 月 16 日

詳細な設定・ご利用方法についてはアタラ サポートチームへお問い合わせください。

### 新規 API 連携

新たに以下に連携しました。

名称	バージョン
Pinterest 広告	v5

### API 更新

以下のバージョンに対応しました。

名称	バージョン
Google 広告	v17

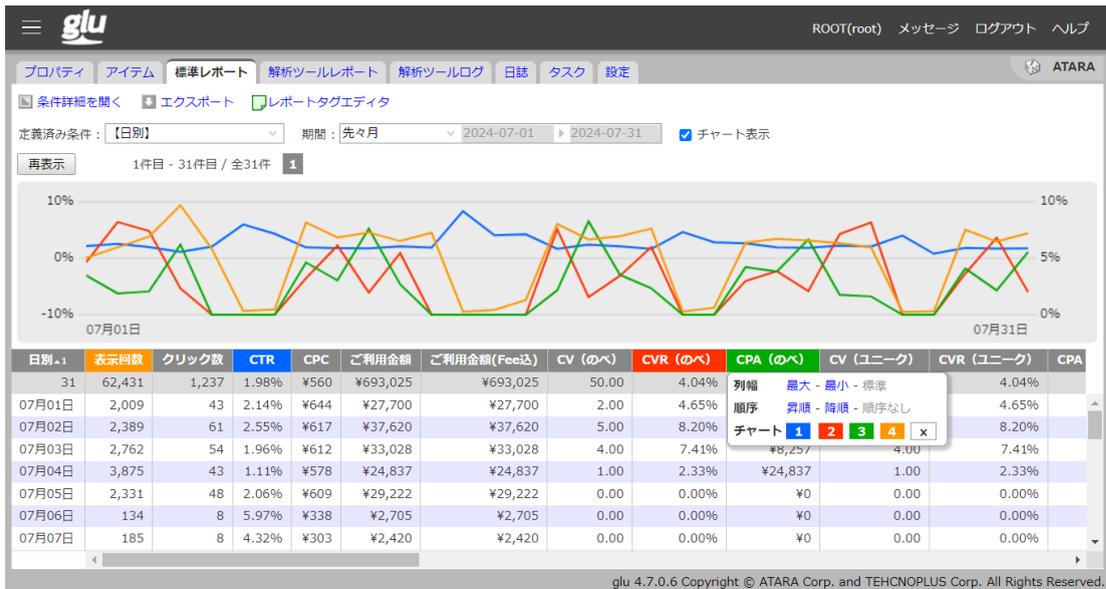
### 機能追加・機能更新

#### [glu 管理画面]

##### - 標準レポート、解析ツールレポート

##### ・ [チャート表示] を追加

glu 管理画面上で 4 項目までグラフチャートを表示します。ヘッダーの項目をクリックすると小窓で「チャート」の 1～4 までの番号を選択できます。「X」を押すと設定が消えます。



- ログイン

- ・ [パスワードを忘れた場合] を追加

「ユーザID」を入力するとユーザのメールアドレスにパスワード再設定用の URL を送信します。

[レポート]

- 検索クエリ別レポート

- ・ Google 広告、Yahoo!広告 検索広告の「追加済み」「削除済み」に対応

ダイスへの項目追加が必要な場合は、アタラ サポートチームまでお知らせください。

- Google 広告

- ・ 「商品別レポート」「ブランド別レポート」に対応

スケジュールは「商品別」でアカウントレベルのレポートを取得します。

レポートタグは以下をご利用ください。

視点	ASPECT
商品別	report_aspect_shopping_products
商品ブランド別(全集計)	report_aspect_shopping_products_x_brand

- ・ P-MAX キャンペーンの「組み合わせレポート」に対応

スケジュールは「アセットグループ組み合わせ構造」で取得可能です。集約方式は「月別」または「任意期間」で90日分を取得してください。

視点の列にすべてのアセットの上位の組み合わせが表示されます。

レポートタグは以下をご利用ください。

視点	ASPECT
アセットグループ組み合わせ一覧	report_aspect_asset_group_combs

・ **キャンペーンレベルの地域別と地域アクション別に対応**

スケジュールは「キャンペーン地域別」と「キャンペーン地域アクション別」で取得可能です。

従来の地域別は広告グループレベルのみに対応していました。今回の対応により広告グループが存在しないP-MAXキャンペーンでも地域別レポートをご利用可能になります。

レポートタグは以下をご利用ください。

視点	ASPECT
キャンペーン地域別	report_aspect_campaign_geographies
キャンペーン地域名前別(全集計)	report_aspect_campaign_geographies_x_name
キャンペーン地域大区分別	report_aspect_campaign_geographies_area_large
キャンペーン地域大区分別(全集計)	report_aspect_campaign_geographies_x_area_large
キャンペーン地域国別(全集計)	report_aspect_campaign_geographies_x_country
キャンペーン地域アクション別	report_aspect_campaign_geography_actions

・ 「パス1」、「パス2」を取得可能な広告タイプを追加

従来の「拡張テキスト広告」に加え「レスポンス検索広告」と「電話専用広告」でも取得可能です。

ダイスへの項目追加が必要な場合は、アタラ サポートチームまでお知らせください。

・ API v17 への対応によりキャンペーンタイプと広告タイプに変更あり

メディア側の仕様変更に伴い以下の変更があります。

- ・ キャンペーン タイプ

変更前	変更後
DISCOVERY	DEMAND_GEN

- ・ 広告タイプ

変更前	変更後
DISCOVERY_MULTI_ASSET_AD	DEMAND_GEN_MULTI_ASSET_AD
DISCOVERY_CAROUSEL_AD	DEMAND_GEN_CAROUSEL_AD

#### - Google ディスプレイ&ビデオ 360

- ・ 「**Total Conversions**」 に対応

「CV数（すべて）」から出力可能です。

#### - LINE 広告

- ・ コンバージョンの「LINE Tag」「標準イベント」に対応

スケジュールは各種アクション別で取得可能です。デバイスタイプ別では取得できません。

LINE広告管理画面上の名称	glu (API) のアクション名
CV (LINE TAG + CV API)	CV (LINE TAG + CV API)
CV (チェックアウト開始)	CV (CHECKOUT STARTED)
CV (カートに追加)	CV (ITEM ADDED TO CART)
CV (リード)	CV (LEAD GENERATED)
CV (商品の詳細を見る)	CV (PRODUCT DETAILS VIEWED)
CV (購入)	CV (PURCHASED)
CV (予約完了)	CV (RESERVATION COMPLETED)
CV (登録完了)	CV (SIGNUP COMPLETED)

- ・ 「長いタイトル」の取得と広告フォーマット「IMAGE\_ANIMATION」の画像取得に対応

- ・ 「動画視聴経由コンバージョンのリリースに伴うレポート仕様変更」に対応

メディア側の仕様変更に伴い、glu の出力内容に変更があります。

glu：ダイスの項目名	LINE広告仕様変更前後の指標名
CV（のべ）、CV（ユニーク）	CV（コンバージョン）→ CV（クリック）
CV数(すべて)	該当なし → CV（すべて）

※ ダイスの項目名はご利用の環境によって異なります。

#### - SmartNews

- ・ SmartNews の新広告管理画面「広告マネージャー v2」のキャンペーン別レポートに対応

#### - The Trade Desk

- ・ 動画関連指標の取得に対応

#### - TikTok広告

- ・ ページイベントデータの「フォーム送信」（Submit Form）に対応

スケジュールは各種アクション別で取得可能です。

TikTok広告管理画面上の名称	glu（API）のアクション名
フォーム送信	form

#### - Yahoo!広告 検索広告

- ・ 「ランディングページURL別レポート」「ランディングページURL（詳細）別レポート」に

対応

「ランディングページURL（詳細）別レポート」は「展開済みランディングページURL別」をご利用ください。

視点	ASPECT
ランディングページURL別	report_aspect_landing_pages_template
展開済みランディングページURL別	report_aspect_landing_pages

## [ツール連携]

### - 解析ツール連携表

- ・ **インポート時に重複エラーがある時の挙動を変更**

従来、インポート用ファイルに重複行が多くエラーレコードを glu へ保存し切れない際にインポートがエラー終了していました。今回の対応によりエラーレコードを保存し切れなくてもインポート自体は正常終了します。

## 機能修正

---

### [glu 管理画面]

#### - Google 広告

- ・ **左ナビゲーションでの展開時にアカウント全体の項目を取得してしまう不具合を修正**

この事象によるレポートデータへの影響はありません。

### [スケジュール]

#### - 一括操作

- ・ **「再実行」時の挙動を変更**

「処理待ち」に対して「再実行」を行うとスケジュールが削除されてしまう問題を修正しました。

今回の対応により「処理待ち」と「処理中」は再実行の対象外となります。

#### - Facebook 広告

- ・ **メディア側の理由によるエラー終了へ対応**

#### - Google ディスプレイ&ビデオ 360

- ・ **エラー時の再実行機能を強化**

#### - Microsoft 広告

- ・ **「広告別」にて画像の取得に対応**

- ・ **「広告アカウント構造」にて広告の属性（画像、広告文、URL など）の取得に対応**

従来より「検索」キャンペーンの広告の属性には対応していました。今回の対応により「検索」キャンペーン以外の広告の属性も取得可能になりました。

## [レポート]

### - Apple Search Ads

- ・「**広告グループ検索クエリ別**」を廃止、「**キーワード検索クエリ別**」に変更  
メディア側の仕様変更に対応しました。

### - Google 広告

- ・視点「**地域別**」関連の地域名を更新  
メディア側の最新の地域名に対応しました。
- ・視点「**アセットグループ一覧**」に「**広告グループ**」が表示されていた不具合を修正

## [レポートタグエディタ]

### - Excelタグテキスト

- ・ダウンロード時の改行コードを LF から CRLF へ変更  
レポートタグ作成時に改行コードを変更することなくご利用可能になります。

